

第4回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

1 日 時 令和元年10月16日（水）10時00分～10時45分

2 場 所 入間市役所 5階 第4委員会室

3 出席者 委員長 副市長 友山宏一

委 員 鳥山政之、田雑弘章、田代高久、福島和弘、小林由利、澤田茂

所管課 高齢者支援課長 宇津木教芳、主幹 富田浩一、副主幹 栗木友和

事務局 企画部次長 浅見嘉之、企画課長 栗原康友、主幹 亀田一生、副主幹
齋藤謙次郎

4 欠席者 なし

5 対象施設 入間市老人福祉センター

6 議 事

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

(2) 今後のスケジュールについて

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

事務局より、最終的な候補の決定方法について、再度確認するため、次の説明をした。

申請を受けた施設所管課において、提案者が申請制限に該当するか否かを確認する「資格審査」については、全ての応募団体について、申請制限に該当していない。

「提案審査」は、各審査項目の採点結果のうち、より公平に評価するため、審査項目ごとに最高点と最低点を除いて算出した平均点（小数点以下第2位まで）をその審査項目の選定委員会としての評価点とし、総合評価点が最も高い提案者を指定管理者候補として選定する。総合評価点は募集要項で示した最低基準点を上回っていることも条件となる。

次に、本日の会議における各施設の指定管理者候補決定までの具体的な進め方について次のとおり説明し、委員の了承を得た。

候補の決定にあたり、最初に応募者それぞれの総合評価点を発表する。

次に、総合評価点が最も高かった法人が指定管理者候補となるが、審査の中で、他の法人と比較しどの審査項目が高い評価を得ているかを説明する。

その後、各委員には、これらを踏まえ、審査で評価したポイントや意見、感想などを述べていただく。

いただいた意見等については、事務局で取りまとめ、最終的な委員会としての選定理由としたい考えである。

委員長：「入間市老人福祉センター」の集計結果を事務局から報告願いたい。

事務局：「シダックス大新東ヒューマンサービス 株式会社（以下「シダックス大新東ヒューマンサービス」）」の総合評価点は、248.40点である。応募法人「A」の総合評価点は、242.40点である。応募法人「B」の総合評価点は、233.00点である。よって、総合評価点が最も高かった、「シダックス大新東ヒューマンサービス」が候補者となる。次ページ以降には、委員別の審査表を掲載している。

委員長：「シダックス大新東ヒューマンサービス」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明をお願いします。

事務局：集計表の1ページに記載の2の①「個人情報」と「業務上知り得た秘密の保護」、2の②「行政手続条例等関係法令の遵守」、3の③「利用者サービスの向上」、3の④「自主事業の内容や地域連携」、4の②「申請団体の経営状況」、4の⑤「事業実績」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「シダックス大新東ヒューマンサービス」が、最も総合評価点が高かったこと、また、高評価を得た審査項目について説明があった。これらをふまえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：老人福祉センターの利用者が減少している現状から、利用者増が期待できることを意識して採点を行った。「シダックス大新東ヒューマンサービス」は、他市での老人福祉センターの指定管理実績があり、その施設において利用者を増加させているという点を高く評価した。

また、提案があった事業の中で、「新60歳歓迎会」事業について、年齢の部分はさておき、新規利用者の開拓を明確に意識した事業提案は他の候補者にはないものであったと考える。また、「シニアワークス・企画」として、利用者による自主企画イベントがある。他の候補者でも利用者アンケートや利用者懇談会を通じて利用者の意向確認はあるが、主に施設管理にとどまる傾向である。「シダックス大新東ヒューマンサービス」の提案は、利用者による自主企画イベントの立案から実行まで行う企画であり高く評価した。利用者の声を反映させて事業につながる点を評価した。

委員：プレゼンテーションの際、カラオケ使用における著作権についての指摘があったが、こういったところからも法令遵守について意識していることが感じられた。様々な制度に倣う点は法人としての基本事項であると考え。ただ、全体的には大きな差があったとは思わない。「特定非営利活動法人 ワーカーズコープワーカーズコープ（以下「ワーカーズコープ」）」は今までの4年間の実績を考える

と若干低く採点したが、総じて点数をつけるのは難しかった。

委員：施設の老朽化や高齢者のライフスタイルの変化により、利用者が減少するなか、様々な課題があるのが実態であると考えます。そのため、これまでと違う視点からの運営を期待して3社の提案を確認しました。3社それぞれに特色があったが、全体としては、いずれの業者が受託してもしっかり運営していただけるものと捉えている。

「ワーカーズコープ」については、老人クラブ連合会の事務局運営を円滑に行ってきた実績や、高齢者の主体的な行動を引き出す事業の提案について、センターの目指す方向性として大いに支持できる。一方で、この5年間利用者が減少してきた状況の中では、利用者増加への期待値は低くならざるを得ず、施設運営での工夫や、経費削減に向けた取り組みについても、新規性に欠けているように感じた。

次に「株式会社 サンワックス（以下「サンワックス）」については、清掃業務に強みを持ち、施設の管理委託者として大変魅力的な提案だった。特に施設の維持管理で法人内の営繕チームを活用するなど、老朽化した施設を適正に管理していく面を高く評価した。しかしながら、同種の施設を指定管理者として運営した実績がなく、ソフト面でどれだけできるのかという疑問があった。

最後に「シダックス大新東ヒューマンサービス」だが、提案自体も洗練されており、他市において同種の施設を運営した実績も十分であることから、受託後の事業展開についても極めて現実的な提案として受け止め評価した。大手事業者であるがゆえに、施設運営を平均的にそつなく行っていただけだと期待できるものの、入間市の老人福祉センターの特色としてはどうなのかという点について物足りなさを感じた。全体としては非常に安定している印象があり、提案書通りの事業実施においては十分に期待させるもので、ある意味、提案の内容、事業者の実績ともそつのない印象をもっている。

こういった点から、今回の最終的な集計結果について、得心がいくものと受け止めている。今回、候補者が決定されると、事業者が入れ替わることになるため、利用者に負担がかからないよう、また市民サービスの低下を招かないよう円滑に引継ぎするよう要望する。

委員：「ワーカーズコープ」については、老人クラブ連合会の事務局として、運営面や県労連との連携等、事務的には満点であったと考える。一方で定年の延長による環境の変化や台風被害等様々な問題はあったが、利用者が減少してしまった点は残念と感じる。他2社について、老人クラブ連合会の事務的な部分の提案が少な

かった点は残念に感じた。運営については3社とも甲乙つけがたい。今後、事務的な部分がどう反映されていくのか、市内各地区での活動や県労連や西部地区との連携をどう進めてもらえるのかが不安である。ただ、指定管理者が変わることの不安はあるが、「シダックス大新東ヒューマンサービス」は全国的な規模で施設運営をしている点や、所長候補者による決意を聞き、なんとかなるのではと感じている。

委員：「シダックス大新東ヒューマンサービス」による運営であれば、他市での実績面から判断すると安心できるのではと考える。提案資料を見比べた時に利用者を最も増やせるのは「サンワックス」だと感じたのだが、結果として「シダックス大新東ヒューマンサービス」が候補者として決定することについて納得できるものである。なお、3社の経営状況についてだが、どの会社に指定管理者として5年間お願いしたとしても、万全であり問題ないと考える。

委員：3社の提案資料を見比べると、「サンワックス」が事業の提案が最も具体的であったと感じた。個々の業務がイメージしやすかった。また施設管理がしっかりされており、利用者が気持ちよく利用できるのではと感じた。利用者を増やすための広報手段のチャンネルが多い点は効果的であると感じた。さらに職員配置が盤石だと感じ高く評価した。

「ワーカーズコープ」はこれまでの実績から少し評価を下げた。また、配置予定職員が非常に高齢化している点が不安に感じた。

「シダックス大新東ヒューマンサービス」の提案資料を「サンワックス」の後に見ると少し大雑把に見え、具体的な施策があまり見えてこなかった。また、労働条件について、無期雇用の正職員が少なく、契約社員が多い点については働く側から見ると残念に感じる。プレゼンテーションでの受付は20代の女性がいいといった発言は、企業体質的な所が見え若干気になった。

委員長：私の意見としては、「ワーカーズコープ」は今までの5年間指定管理者として、特に老人クラブ連合会の事務局として親身になって協力いただいた点については評価が高い。その一方で利用者の減少に対してはもう少し手を打っていただきたかった。

「サンワックス」は、施設管理面については期待できるものの、指定管理の実績が乏しい点が不安材料であると感じた。

「シダックス大新東ヒューマンサービス」は経費面でいえば他社よりも高いが、全国的に展開している実績について評価は高く、期待できるものである。ただ、大企業だけにやまゆり荘への思い入れを持って取り組んでもらいたいと感じた。

指定管理者が変更になるということで、やはり危惧するのは老人クラブ連合会の事務局運営である。候補者の決定にあたっては、選定委員会として、事務局の事務についてしっかり引継ぎをし、老人クラブ連合会をフォローしていくことをお願いする意見を付け加えるのがいいと考える。

事務局からも説明があったとおり、総合評価点が最も高い法人を候補者として決定するとしており、委員の意見を聞くと全体的には「シダックス大新東ヒューマンサービス」に決定することに納得いただいていると感じたが、「シダックス大新東ヒューマンサービス」を「入間市老人福祉センター」の指定管理者候補として、決定してよろしいか。

全委員：異議なし。

委員長：「入間市老人福祉センター」の指定管理者候補を「シダックス大新東ヒューマンサービス」に決定する。なお、「シダックス大新東ヒューマンサービス」が辞退した場合は順位を繰り上げ、次点の「A」を指定管理者候補とする。

以上で、議事(1)「集計結果及び指定管理者候補の決定について」を終結する。

(2) 今後のスケジュールについて

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：来年4月に指定期間が始まるまでのスケジュールを説明する。本日をもって、全ての指定管理者候補を選定いただいた。指定管理者候補選定委員会は終了となる。今後は、事務局である企画課と所管課である、高齢者支援課において進める。

令和元年（10月下）指定管理者候補決定報告の市長決裁・・・企画課

（11月初）選定結果の通知（所管課へ）・・・企画課

（11月初）選定結果の通知（応募団体へ）・・・高齢者支援課

（11月上）庁議で協議事項として諮る・・・所管課

（11月中）市公式ホームページで会議録・選定結果を公表・・・企画課

（11月下）議案提出（12月議会）「指定管理者の指定」「債務負担行為の設定」
・・・高齢者支援課

（12月中）告示「指定管理者の決定」・・・高齢者支援課

令和2年（1月）指定管理者との協定書締結・・・高齢者支援課

（3月）広報いるま及び市公式ホームページで指定管理者の公表・・・企画課

以上の工程を経て、令和2年4月から指定管理者による運営が開始される。

委員長：事務局からの説明で不明な点はあるか。

委員：特になし。

7 その他 なし

以上